

平成 2 6 年 9 月

伊東市議会 9 月定例会

一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一般質問順序

- | | | | | | |
|----|---|---|-----|---|-----------------------|
| 1 | 土 | 屋 | 進 | 君 | (9月10日(水) 10時～10時50分) |
| 2 | 稲 | 葉 | 富士憲 | 君 | (9月10日(水) 11時～11時50分) |
| 3 | 楠 | 田 | 一男 | 君 | (9月10日(水) 13時～13時50分) |
| 4 | 榎 | 本 | 元彦 | 君 | (9月10日(水) 14時～14時50分) |
| 5 | 四 | 宮 | 和彦 | 君 | (9月10日(水) 15時～15時50分) |
| 6 | 佐 | 山 | 正 | 君 | (9月11日(木) 10時～10時50分) |
| 7 | 杉 | 本 | 一彦 | 君 | (9月11日(木) 11時～11時50分) |
| 8 | 浅 | 田 | 良弘 | 君 | (9月11日(木) 13時～13時50分) |
| 9 | 森 | | 篤 | 君 | (9月11日(木) 14時～14時50分) |
| 10 | 重 | 岡 | 秀子 | 君 | (9月11日(木) 15時～15時50分) |

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 土 屋 進

1 旧庁舎跡地は、暫定として「松川藤の広場」として活用し、将来、市街地活性化につながる核となるべき区域として、段階的に隣接地の公有地化が進められているが、松川沿いにおいて一定の広さを有する民有地の公有地化をさらに積極的に進めるべき時期に来ていると考えるが、いかがか。

2 地球温暖化などを要因とする不安定な大気の状態や異常気象により日本列島を襲う自然災害は近年増大しており、この夏も相次ぐ台風による被害に加え、豪雨によるがけ崩れや土石流などの土砂災害によって甚大な被害が引き起こされている。

このような事態を踏まえ、本市において積極的に指定を進めている津波避難協力ビルについて、所有者の理解をいただく中で、自然災害全般における一時避難や緊急避難にも対応できるようにすべきと考えるが、いかがか。

3 伊豆半島ジオパークは、世界ジオパークへの加盟認定を目指しているところであるが、ジオサイトをめぐるウォーキングコースの整備充実について、以下2点伺う。

(1) ゆったり湯めまちウォークにおける「松川散策コース」中の松川河口から松川遊歩道、泉橋を経由し、さらに八代田橋から万葉の小径を経て奥野ダムに至るまでの間にトイレがなく不便であるとの市民からの指摘がある。

また、「溪谷コース」中の松川湖白川橋から井原の庄を経てさくらの里・大室山に至るルートにもトイレがないことから、これらのコース沿いに観光トイレを設置すべきと考えるが、いかがか。

(2) 伊東自然歴史案内人会から、平成24年10月22日付で城ヶ崎自然研究路の橋立付近にトイレの設置を願う旨の要望書が市長に提出されているが、その後の検討状況を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 稲 葉 富士憲

1 住民間のトラブルについて、以下2点伺う。

(1) 市に相談が持ち込まれる事案のうち、次の事案はそれぞれどの程度あり、どのように対応しているか。

ア 騒音に関するもの

イ ペットの飼い方をめぐるもの

ウ 樹木の管理に関するもの

(2) 地域コミュニティを活性化するため、自治会や町内会への参加を推進する条例を制定できないか。

2 小・中学校における夏の暑さ対策について、以下4点伺う。

(1) エアコンの設置を検討できないか。

(2) 暑い教室での授業は、児童・生徒の学習状況にどのような影響を与えていると考えているか。

(3) 現在、どのような暑さ対策を講じているか。

(4) 土曜授業の導入で、夏休みの期間を長くすることはできないか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 楠 田 一 男

- 1 高齢者の介護予防対策として、65歳以上の高齢者が地域でボランティア活動を行った場合に「ポイント」を付与し、貯まったポイントに応じて、商品との交換や換金のほか、介護保険料の支払いに充てることで保険料の軽減にも利用できる事業を実施してはいかがか伺う。

- 2 ネット社会の進展に伴った消費者トラブルが相次いで発生している状況を踏まえ、ふえ続ける消費者被害を防止し、消費生活の安定及び向上を図るための方策についてどのように考えているか伺う。

- 3 本市庁舎の市民ロビーは、広く市民に開放され親しまれているが、以前、市制施行50周年記念事業として市民ロビーでとり行われた結婚式を、新たなウェディング事業として実施してはいかがか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 榎 本 元 彦

- 1 近年の異常気象により、局地的な豪雨や竜巻による災害が相次いで発生しているが、このような予測しにくい自然災害に対する本市の対策について伺う。
- 2 青少年の非行の現状及びその防止策について伺う。
- 3 交通量の多い通学路の点検状況及び安全対策について伺う。
- 4 今年度で繰上充用が解消されると思われるが、競輪事業について今後の展望を伺う。
- 5 中学校給食の完全実施に向け、現在、学校給食センターの設計が進められているが、今後の具体的な運営方法及び集団調理に対応した食物アレルギー対策について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

本市における公共交通政策のあり方について伺う。

1 電子行政オープンデータ推進と公共交通政策への利活用について

(1) 本市における電子行政オープンデータの推進状況について伺う。

(2) オープンデータの公共交通政策での利活用の可能性をどのように考えているか。

2 公共交通政策のあり方と市民の健康について

(1) 自家用車利用率の高低と生活習慣病罹患率の高低は統計上相関があるとされていることから、公共交通政策を市民の健康増進施策の一つとして位置づけ、事業・施策を展開している自治体もふえているが、本市において、公共交通政策と市民の健康についての相関をどのように考えているか。

また、それは政策においてどのように反映されているか。

(2) 交通網、歩道、公園整備、美的景観など都市のあり方が生活習慣病の発症に及ぼす影響についてどのように考えているか。また、そのために、市民の健康増進施策を踏まえて、公共交通政策はどうあるべきと考えるか。

3 平成26年3月定例会において新たな公共交通政策に対する取り組みとして、今後検討、研究すると答弁された事項の進捗状況について、以下4点伺う。

(1) 「地域の交通手段としてのバス路線維持を図るため、バス事業者とも協力しながらバス利用の促進に取り組むとともに、極端にバス利用者が少ない路線については、バス以外の公共交通手段の検討も始めている」と答弁されたが、バス利用促進施策及びバス以外の公共交通手段について具体的な方策を伺う。

(2) 伊豆急行への支援策として、「国県や沿線市町と連携した鉄道の老朽化対策等に対する補助が、運賃を抑えることにつながっていくものと考えており、今後も、このような直接的な補助も含め、可能な支援を行ってまいりたい」と答弁されたが、従来の支援に加え可能な支援とはどのようなものを検討し、具体化したのか伺う。

(3) 航路事業について、「公共交通としての海路利用にとどまらず、観光利用や防災利用も含めて研究していくことが必要である」と答弁されたが、これまでにどのような研究が行われたのか伺う。

(4) 「今後は地域公共交通会議のさらなる有効活用を検討してまいりたい」と答弁されたが、従来とどのように変わったのか、あるいは変わっていくと考えているのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 山 正

- 1 J R 東日本が伊東線 4 駅の無人化を検討しているとの報道がされたが、無人化が実施された場合どのような影響を受けるか。

また、無人化に対する本市の考えを伺う。

- 2 2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けた本市の取り組みについて、3 月定例会において一般質問をしたが、その後の進捗状況を伺う。

- 3 観光行政について、以下 3 点を伺う。

- (1) 伊東八景の整備事業の一環として、一碧湖の生態系の調査・研究をする必要があると考えるが、いかがか。

- (2) 本市の魅力の一つは景観のすばらしさであるが、伊東八景以外の景観整備についてどのように考えるか伺う。

- (3) 観光地における「おもてなしの心」は、なくてはならないものであり、小・中学生や高校生に「おもてなしの心」の育成を図るための機会を積極的に設ける必要があると考えるが、いかがか。

- 4 平成 26 年度の全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）の結果が公表され、学校別の結果公表に関し、昨年に引き続き全国的な論議を引き起こしているが、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

1 このたび、伊東市民病院と東海北陸厚生局の間で起きた、特掲診察料「検体検査管理加算」に係る施設基準に対する考え方の錯誤により診療報酬の加算分を平成25年度分までさかのぼって返還するとの事態は、今後、病院経営にとって一番大切な信頼を失いかねないほどの大きな問題につながるものが危惧されることや、今後の病院事業会計にも大きな影響を及ぼすおそれもあることから、以下4点伺う。

(1) このたびの特掲診察料「検体検査管理加算」の返還に至る経緯と理由を伺う。

(2) 返還金の金額を伺う。

(3) 現在の「検体検査管理加算」に係る施設基準は、以前の施設基準と比較して、病院の収益にどのような影響を及ぼすか伺う。

(4) 今回の一連の出来事を踏まえ、この問題に対し、今後どのような対策を講じていくのか伺う。

2 教育環境の充実を図る観点から、小中一貫教育も視野に入れた中で、小・中学校の統廃合が不可欠であると考えているが、その見通しを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

1 本市の防災対策に関して、以下 8 点伺う。

- (1) 防災用資機材の整備状況及び収納方法について
- (2) 避難所と避難場所の区分及び避難方法について
- (3) 避難路の安全確保及び点検について
- (4) 自主防災組織の点検票による資機材の保管状況及び整備状況について
- (5) 自主防災組織の強化に向けた資機材整備に係る補助について
- (6) 防災知識の普及計画について
- (7) 要援護者の避難体制並びに名簿の作成状況及びその活用方法について
- (8) 避難生活を送る被災者への公営住宅の確保について

2 本市の河川に係る整備及び管理に関して、以下 3 点伺う。

- (1) 除草、修繕、しゅんせつ等の維持管理について
- (2) 法定河川の境界区分及び県との連携状況について
- (3) 不測の事態等に伴う河川氾濫時の対応について

一 般 質 問 要 旨

議 員 森 篤

1 将来人口の推計を踏まえた諸構造の転換について

我が国の人口は減少の一途をたどるとの報道があるところですが、国立社会保障・人口問題研究所によれば伊東市の人口も減少の一途をたどり、例えば西暦2020年には、6万6,000人台になるとの推計が出ています。市長は、直近の議会における同僚議員の人口問題に関する一般質問の答弁の中で、総合計画にある7万人の維持を目標に施策を展開したいとしていますが、必ずしも効果的な施策が展開できているとは言いがたく、また、多くの自治体で人口減少が推計される中で、他自治体にぬきんでて人口増加あるいは人口減少をとめる効果的な施策を展開することは必ずしも容易ではありません。

消極的な意味ではなく、時勢を的確に捉えるという視点から、また、自治体の経営を一層充実させる視点から、目標人口を下方に設定し直し、その人口に見合う自治体経営ができるように現時点から諸構造を転換していくことを検討すべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

2 消防・救急広域化の協議状況について

- (1) 「駿東伊豆地区消防救急広域化協議会」において、広域化に伴う各自治体の経費の分担に係る協議はどのように進んでいるか伺います。

また、広域化した場合とそうでない場合とを比較して、広域化した場合には、伊東市においては現状の消防・救急に係る経費がどの程度減少するか伺います。

- (2) 関係市町の皆さんに必要な情報を提供すべく、「駿東伊豆地区消防救急広域化協議会」ではホームページを開設しているところですが、肝心の同協議会における各種会議の内容が公表されていません。消防・救急の広域化は地域住民にとって極めて重大な施策でありますことから、速やかにこれを公表すべきと考えますが、いかがでしょうか。

- (3) 現時点における一部事務組合の設立時期及びそこに至るまでの主な項目のスケジュールはどのように考えているか伺います。また、一部事務組合の設立には議会の議決が必要となりますことから、「駿東伊豆地区消防救急広域化協議会」において、一部事務組合の詳細（案）について協議され、市民の皆さんや議会に事前に説明がされるものと考えますが、その時期はいつごろか伺います。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 観光客実態調査などのデータやさまざまな観光情報を生かした観光戦略について、以下4点伺う。

(1) 観光客実態調査はどのように行われ、どのように活用されているか。

(2) 外国人や若者など、最近の観光客の動向に変化はあるか。また、その変化をどのように分析し、どのような対応を考えているか。

(3) いとう創造大賞実現部門の最優秀賞を受賞した「ゼミ合宿のメッカ『伊東』に。」の提案をどのように具体化するのか。

(4) 以上のような観光戦略は、どのような場で練られているのか。

2 例年、庁舎市民ロビーで行われてきた「原爆展」や「平和展」について、ことしは会場の貸し出しや展示内容の制限などが行われたが、市民ロビーの貸し出しに関し、市としての基本的な考えについて伺う。

また、来年は終戦70周年を迎える年であり、「平和都市（核兵器廃絶）宣言」をしている本市として、節目の行事を市民との協働で取り組む考えはないか伺う。

3 子供たちの豊かな感性を育むためには、舞台芸術を鑑賞する体験が大切であると考えるが、舞台芸術鑑賞に対する助成について考えを伺う。